

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2015~2016年度 No.187

## 8月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：CS (地域奉仕)



7月例会 2015年7月23日 於：西那須野教会

2015~2016年度 主題  
国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)  
「信念のあるミッション」  
アジア地域会長：(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)  
「愛をもって奉仕をしよう」  
東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)  
「原点に立って、未来へステップ」  
北東部長：中川 典幸 (仙台)  
「今と原点を融合して未来へ」 - 楽しく改革・笑って行動 -

クラブ役員 事務局  
会長：田村 修也  
副会長：村田 榮  
河野 順子  
書記：荒井 浩元  
会計：鈴木 保江  
担当主事：荒井 浩元  
プリテン：田村・村田

7月例会データー (出席率：83%)  
在籍者 6名  
例会出席者 4名 メネット 3名  
ゲスト 1名  
メイクアップ 1名

今月の聖句  
「主を畏れることことは知恵の初め、聖なる方を知ることは分別の初め。」  
箴言 9：10

東京目黒クラブ 那須クラブ  
8月 Happy Birthday  
なし なし

## 巻 頭 言

「八月がくるたびに」

会長 田村 修也

私は8月が来ますと必ず読む本があります。1冊はおおえひで著の児童書「八月がくるたびに」、そしてもう1冊は松谷みよ子著の児童書「二人のイーダ」です。前書は長崎に落とされた原子爆弾の話で後者は広島に落とされた原子爆弾の話であることは皆さんよくご存知のことと思います。忘れてはならない、繰り返してはならない事実です。若しまだお読みになっていなければ、是非ご一読頂きたいと願います。

また私は現在毎週木曜日の夜と金曜日の午後に、歌の好きな仲間と共に「なつかしいうたをうたう会」を作って活動しています。皆さんの歌いたい歌を持ち寄り、また私が紹介したい歌を準備して歌い続けてもう10年になります。歌集も10冊を越えました。

その中に「夏をうたう」という1冊があります。その歌集で「砂糖きび畑」「死んだ女の子」「君死にたもうことなかれ」を歌います。また「長崎の鐘」のあとには、四籠 掲牧師の「平和を実現する」の一文が載っています。「八月を間近にすると私は広島の前爆の地獄絵を思い起こします。それを広島、長崎の両都市に投下したのはあくまでも他者を抹殺しようとする人間の悪魔性の現れ、『人間の罪』に他なりません。私は1945年8月6日の朝、広島市役所の周辺の取り壊し家屋の後片付けに中学2年の同級生と共に動員されました。作業の始まる十数分前、そこから中学校まで教師の命令で「伝令」に行かされたため、万死に一生を得ました。市役所の周りで作業に取りかかっていた学友たちは教師を含めて二百数十名、全員が亡くなったのです。戸外で半裸で作業を始めた中学生たちは原爆の熱線で瞬時大火傷を負ったのです。火傷をしたまま中学校まで走って帰って来た数名に出会った私は声を呑みました。特に頭は二倍か三倍にふくれあがり、まさに『海坊主』のようになっていたからです。顔も火ふくれしていますので、名前を聞くまで誰が誰だかわかりませんでした。

広島を中心部からほとんど同時発生的に火事になり、逃げ遅れた人々が炎に包まれました。倒壊した家屋の下敷きになって逃げることのできなかった人たちの、丸太棒のようになった死骸を翌日から何千何百と見ながら家族を捜しました。その後被爆者たちは長い間『原爆症』で苦しめられ

ているのです。

秋葉忠利広島市長と田上富久長崎長が『核不拡散条約』(NPT)再検討会議の準備委員会で演説したことが先日報じられました。またオバマ大統領が『原爆を投下した米国の道義的責任』に言及したことは漸く『核兵器廃絶』に向かって世界の動きが始まったとの印象を強くします。

ところで長年・・・『マイノリティー(少数者)では何の力にもならない』という言い訳のもとに結局平和への取り組みも消極的だったように思います。しかし『平和を実現すること』も小さな一歩から始まるのです。私たちの周囲から、私たちの国から『平和』への努力を推し進めたいと思います。人間の相互不信と憎しみの源には他者抹殺の心理があり、それが『核戦争』に繋がっていることを銘記したいからです。事実の証言者の言葉が胸につき刺さってきます。

1966年から1969年にかけて永六輔、いずみたく、デューク・エイセスが組んで「にほんのうた」シリーズ4集が発表されました。当時は「いい湯だな」「女ひとり」「筑波山麓男声合唱団」「フェニックス・ハネムーン」等がTV番組でよく出ていました。北海道から沖縄まで各県別にオリジナルの歌がつけられましたが、アルバムでしか聞くことの出来ない名曲が幾つもあります。その一つに「伝説の町」(広島)があります。昔 昔 古い昔、この街と 長崎の空が光ったことがある、それからのことを話そうとしても出来ない

怖い 怖い 怖い話、本当の 出来事でも伝えられないことがある、大切なことを忘れようとする人たち

みんな みんな 思い出すのだ  
忘れてはいけないことだからだ

君と 僕の 明日の為に  
この街の人達と語り伝えてゆくのだ  
僕達の国がそれをしなければいけない  
僕達の国がそれをしなければいけない

「八月や六日九日十五日」。

## 7月例会(キックオフ例会)

日時：7月23日(木)午後6時30分～

午後8時30分

場所：日本基督教団西那須野教会

参加者：田村会長、原田、村田、荒井。メネット：田村、原田、村田。ゲスト：とちぎYMCA総主事塩沢達俊（宇都宮東クラブ） 合計：8名

7月（キックオフ）例会を西那須野教会において、とちぎYMCAの総主事塩沢達俊さんを迎えて「とちぎYMCAのミッションと思い」と題してお話をいただいた。とちぎYMCAのおかれている現状とこれからの目指すものについてパワーポイントを使用しながら、わかりやすくお話をいただきました。例会の日が変更になったことが影響したのかユースリーダーや那須ワイズの協力者の参加が得られなかったのは残念でした。

## 7月役員会報告

日時：7月3日（金）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、荒井書記、田村メネット

協議事項

### 1. 7月例会（キックオフ例会）について

7月23日（木）午後6時30分～。西那須野教会にて、とちぎYMCA総主事塩沢達俊氏を迎えて、「とちぎYMCA／那須YMCAの将来計画」をお聞きする。ユースリーダーにも声をかける。

### 2. 那須街道赤松林の下草刈の件

1回目を6月に実施したところ、営林署より、今までに植え付けを行ったところの下草刈を依頼された。第2回目を7月6日（月）午前8時より行う。

### 3. 2015～2016年度年間計画について

別紙資料に基づき田村会長より説明があり、協議を行った。

### 4. 8月役員会と例会の件

8月14日（金）午後6時30分～、ココス西那須野乃木店。8月例会は、DBCの東京目黒クラブとの交流会とする（27日）。

### 5. 北東部第1回評議会出席の件

7月25日（土）午後1時から仙台YMCAにて開催。田村会長、河野副会長、村田副会長が出席する。村田宅9時30分に集合して車にて行く。

### 6. 東京目黒クラブとの交流会の件

東京目黒クラブが2015年8月26日（水）～28日（金）の2泊3日で「北区しらかば荘」での移動例会を開催。那須クラブとして、27日（木）の夜に1泊で交流会を行う。なお、当日の昼間に、田村会長による「那須疎水」を案内・説明を行う。

那須クラブの宿泊予定者の確認、田村会長、村田メン・メネット2泊。荒井担当主事26日1泊（27日の夜まで）、河野副会長、田村メネット27日の交流会に参加。

### 7. ブリテンの内容について

## 今後の予定

### ・8月例会（DBC東京目黒クラブとの交流・合同例会）

日時：8月27日（木）午後6時00分～

場所：北区しらかば荘

内容：村野繁メンより、アジア大会の報告を聞く。《スケジュールの確認》

8月26日（水）午後2時30分那須塩原駅

田村、荒井、村田がお迎え、北区しらかば荘へ直行（ゆっくりと温泉を楽しむ）。夕食後、田村会長より翌日の「那須疎水」のお話を聞く。

27日（木）午前9時30分出発、車に分乗し田村会長の案内で那須疎水を見学。昼食は農村レストランの予定。午後3時ごろ北区しらかば荘へ（ゆっくりと温泉を楽しむ）。夕食後合同例会（アジア大会の報告を東京目黒クラブ村野メンより聞く）。28日（金）那須の観光を楽しむ。午後2時30分那須塩原駅まで送り。

会費：全泊・昼食付き（13,000円）、27日のみ参加（7,000円、6,000円）

全泊者：田村会長、村田メン・メネット、

26日から27日：荒井担当主事、27日の那須疎水の見学からの日帰り：原田メン・メネット、

27日の交流会：河野メン、田村メネット、

調整中：鈴木メン

東京目黒クラブよりの参加者予定：男子3名、女子6名計9名。

### ・8月役員会

日時：8月14日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

## 那須街道赤松林植栽地の下刈り実施

村田 榮

日時：7月6日（月）午前8時～10時

出席者：応援隊（菊地、鳥越）、田村、村田

6月に引き続いて、第2回目の下草狩りを一昨年まで植え付けたところを行いました。第1回よりも思ったよりも雑草が大きくなっており、植え付けた苗木（赤松）よりも大きく、苗木を覆い隠

すようになっている雑草を苗木と間違っ  
て切らないように注意を払いながら行  
いました。

植え付けが悪かったのか雑草に負  
けてしまったのかで枯れているところ  
も数か所ありました。前月号に詳しく  
田村会長が下草狩りの必要性を書か  
れておりますが、本当にそのとおり  
であると思われました。来年も森林  
管理署の依頼があればお手伝いを  
したいものです。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（28回）

田村修也

旧西那須野町は昭和30年の第1回町  
村合併で、旧狩野村（三島村と石林  
村他9ヶ村）と旧西那須野町が合併  
して新西那須野町が誕生しました。こ  
の合併では、旧西那須野町の内、西  
郷農場である加治屋区は地理的な結  
びつきが大田原と強かったので、分  
離合併して大田原市の一部となりました。

大山巖と西郷従道は従兄弟関係で、  
初めは500町歩を共同で開墾してい  
ましたが、風説では将来のことを考  
えて、250町歩ずつ分割して西郷  
さんは加治屋開墾に、大山さんは大  
山農場になりました。西那須野駅前  
の町名は大字永田町で旧那須野駅  
（現在の西那須野駅）は西郷さん  
の別荘の庭園内に建設されました。  
鉄道敷を挟んで大田原寄りが大  
山農場で、大字は下永田町になって  
います。大山巖墓所に隣接した共  
同墓地は大山さん西郷さんが共同  
で土地を寄付してつくられたもので、  
入口の左右の石柱には大山家、西郷  
家と刻まれていました。

旧狩野村の最後の14代村長さんは  
中島欣三郎さんで、合併後の2代町  
長を務められました。中島さんは西  
那須野小唄を作り、青年時代の私  
たちは西那須野うたう会として合  
唱活動をしていたので、西那須野  
町歌の制定時に、小唄も共にレコ  
ードに吹き込みました。その小唄  
の歌詞に「昔や源氏の狩場の跡よ  
思い起こせよ印南翁 矢板翁と  
でよ 私財投じた那須疎水」とい  
うのがあります。

印南さんは家業の旅館も投じ、持  
てるすべての資産を投じ、最後は  
開拓地の陋屋で病に倒れました。  
今では烏が杜神社に合祀されている  
だけで、佐久山の旅館のあった場  
所さえ特定することが出来ません。  
南さんは明治3年に借入金が2万  
両となり入牢したとあります。先  
駆書の苦難は想像も出来ません。  
大蔵財務協会監修の「日本の貨幣」  
によりますと、明治10年までの大  
工手間は40銭から50銭とありま  
す。インターネットでの調べでは、  
実勢単価33,000円とあります。仮

に1日50銭、大工手間30,000円  
で換算しますと、当時の2万両は1  
2億円にもなります。那須疎水開  
削のための政府支出金が明治18  
年4月1日付けで10万円です  
から、現在価で12億円は想像に  
難くありません。進退極まったこ  
とでしょう。（申し訳ありません。  
つい2万両、入牢の文言に心引か  
れてしまい脱線してしまいました）  
入牢後はどのように事態が展開し  
ていったかは、以下の通りです。

○1871（明治4）高森井手口に  
バラック式家屋を建て、一家転居。  
同志たちの援助により同地に建設  
された水車小屋で生計を支える。  
※廃藩置県

○1872（明治5）新橋・横浜間  
鉄道開通

○1873（明治6）広瀬井手完工。  
「広瀬井手堰井路永年規約」を制  
定。水の分配管理開始。同志と共  
に宇佐神宮能舞台を借用し「中  
学校」を開校。※地租改正

○1875（明治8）松方正義侯の  
招きで単身上京。農務課臨時雇。  
妻子貧困。

○1876（明治9）内務省農務課  
勸業寮十一等出仕。華士族授産  
事業として全国に水利開墾事業  
を興すため、適地調査に青森・宮  
城・福島・栃木各県の諸原野巡  
察に派遣。

○1877（明治10）青森三本木原・福島対  
面原・栃木那須原外三原が開墾  
適地であると政府に復命書提出。

※2月西南戦争

※安積（猪苗代湖）疎水事業の難  
易を調査

○1878（明治11）桑野村に常  
駐し、土族移住業務と安積疎水  
工事着工準備を担当。以後疎水  
完成後まで政府駐在感官（技術  
専門官）として現地で指揮を取  
る。

※試験田を設け土地の肥瘦検査  
の穀類試作。

※一郎平等の「従来調査設計図  
書」がオランダ人ファン・ドール  
ンに認められる。

○1879（明治12）安積疎水起  
工式。

※烏ヶ森丘上に伊藤博文・松方  
正義を迎え、印南・矢板水路開  
削の必要を力説。

○1880（明治13）布藤・戸口  
両堰と16橋水門完成。

※印南・矢板、那須開墾社を組  
織。3千町歩拝借出願。

○1881（明治14）農商務省一  
等属。

京都府知事、疎水事業を農商務  
省に稟議。一郎平に琵琶湖疎水  
の実地調査依頼。

※那須岳爆発（8月）

○1882（明治15）滋賀県下  
三井寺付近踏査、

琵琶湖疎水路を選定。詳細意見書と水路目論見書を京都府知事に提出。宮城県野蒜突堤成業式に出席

○1883（明治16）多摩川上水堰口検分。那須野ヶ原水路開削の測量実施。

○1884（明治17）疎水掛長、農商務省権少書記官、内務権少書記官に任ぜられ、正七位に叙される。琵琶湖疎水線路を視察。那須疎水隧道試掘工事着工。

○1884（明治18）那須疎水開削工事起工式。琵琶湖疎水工事起工式。内務省土木局第一部長に任ぜられる。那須疎水本幹工事竣工通水式挙行（9月）。

○1883～1885（明治16～18）

静岡県天竜川疎水・富士沼水門、茨城県那珂川疎水、山口県鹿脊ヶ坂隧道、茨城県月居隧道、兵庫県淡河疎水、鹿児島県加治木新田築堤工事等の調査設計。

○1886（明治19）退官。「現業社」を創設。難所 碓氷峠、東海道箱根、鎌倉、横須賀、岩手、青森の隧道・橋梁等鉄道工事に従事。

○1888（明治21）藍綬褒章受章。

○1890（明治23）琵琶湖第一疎水が鴨川まで完成。東京本郷一致教会で受洗。キリスト教徒となる（6月15日）。

※田嶋弥三郎、董、真澄、群馬県島村から那須野ヶ原開拓のため入植。

○1892（明治25）引退。

○1899（明治32）「尚」と改名。

○1919（大正8）死亡（83才、東京府北多摩郡武蔵村境513）。

○1953（昭和28）宇佐神宮にて南翁頌徳記念碑除幕式。「南尚神社」を高森の会所の地に建立。偉大な方でした。（次号へ続く）

## アジア学院だより

「サーバントリーダーシップ」

学校法人アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

栃木県経済同友会のアジア学院支援の一環で、先日特別講演会と称してアジア学院の提唱する「サーバント・リーダーシップ」について話をさせていただきました。アジア学院の研修の柱とも言えるこのリーダーシップ哲学ですが、農村リーダーに対する考えが、どれほどビジネスの第一線におられる会社の社長さんや役員さんに参考になるのか疑問であり

ましたが、結果的に大変喜んでいただきました。

「サーバント・リーダーシップ」とはそのまま訳せば「仕えて、人を導く」であり、と一見相反する2つのことを合わせた行動論に聞こえますが、これは「リーダーであるものは、まずサーバントであるべき」、つまりまず相手に仕え、その奉仕や支援を通じて周囲から信頼を得て主体的に協力してもらえる状況を作り出すことによって人々を導くという理に適ったリーダーシップ論なのです。

提唱者のアメリカのロバート・グリーンリーフ（1904-1990）の著書を引用しながら、支配型のリーダーシップとの対比をし、「聴く」、「共感」、「人々への愛」といったサーバント・リーダーの特質や、イエス・キリストの生き方をサーバント・リーダーシップの模範とするアジア学院での実践例などを1時間余りで説明させていただきました。そして最後の質問のところで、某大手企業の元役員の方から、このリーダーシップの資質は特に分類をしていなかったけれども、我々日本人のリーダーにはすでに多く備わっているものだと思うという意見がありました。実は私もこのリーダーシップ論は、小さい頃から学校などで先生や上司が率先して掃除や除草などを行う姿を見てきた私たち日本人にとっては、とてもわかりやすい、むしろ当たり前に近い考え方であると思っておりましたので同感だと申しあげました。さらにアジア学院がなぜ日本になければならないのかという理由を聞かれる場合にも、「日本にはサーバント・リーダーシップの実践例が身近にあるので、学生たちにとって自然に習得できる」ということを申し上げていると付け加えました。

私たちのお迎えするアジア、アフリカその他の国々のほとんどはサーバント・リーダーシップからは程遠い支配型リーダーシップが普通です。ですので私たちがアジア学院でほぼ無意識に行っている、職員も一緒に掃除や皿洗い、仕事の平等な分配などが驚きをもって受け取られます。そしてほとんどの学生たちはこのリーダーシップが導入されるならば、私たちの社会は大きく変わると確信をもって卒業するのですが、現実には導入には大きな壁があるようです。それでも先日アジア学院創設以来初めて行われた第三者による研修評価の報告書によれば、多くの卒業生たちがそれぞれの場で各々の方法でサーバント・リーダーシップの導入を試みており、それによって団体や地域が良い方向に変化したとありました。その課程には計り知れない苦労があったと思います。そういった卒業生の経験を活かしつつ、構成員であるひとりひとりの声が聞かれ、特に声なき声を持つ社会の弱者がエンパワーされることを望むサ

ーバント・リーダーシップがひとつでも多くのコミュニティに広がっていくように、これからもアジア学院の研修を通じて普及を行ってまいりたいと思います。

## 西那須野幼稚園だより

「雨の日には 雨の中を 風の日には 風のなかを」(あいだみつを)

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
園長 福本光夫

子どもたちが神様に守られて、健やかに成長していることを感謝いたします。

全ての子どもと子育て家庭の最善のためにスタートした幼稚園としては58年目、幼保連携型認定こども園西那須野幼稚園としては4年目を終え、この4月からは、国の保育制度改革により、保育園の法人と合併し社会福祉法人で、どの子ども達も質的に高い幼稚園の教育を受けられる新幼保連携型認定こども園としてスタートする予定でしたが、国の「子ども・子育て支援新制度」の欠陥により保育の質を保てないために認定を返上せざるを得ませんでした。返上しても、こひつじ保育園と合同保育で建学の精神である「自分を愛するように、あなたの隣人をも愛しなさい(聖書)」を念頭に、全ての子どもたちの健やかな成長を願いスタッフ一同が愛を持って、1人1人の子どもを大切に保育します。今年度も当初教師1人あたり約??名の園児という良い人的環境により、更なる保育の質的向上を追求しております。また、子育て支援についても、従来の未就園児の親子プログラム、親子関係に造詣の深い宮城教育大名誉教授の長谷川茂先生の発達相談に加え、3年目の保育園のリリールーム(子育て拠点事業、月・水・金)には、日本で初めてマイコプラズマ肺炎の研究をした保健師・看護師・カウンセラーの原明子先生も加わりました。

さて、冒頭の文は、足利市の書家であった相田みつをさんの詩です。これからは正解のない時代です。それぞれが与えられた環境のなかで、折れない心(レジリエンス)をもって、歩いて行くことが大切です。そして親も教師も子ども達もその関係性の中で、親として、教師として育ち合うのです。

ところで、人の人との関わりを仲立ちとした地域社会の消失は、子どもが健やかな自己形成をしていく場や機会の消失を意味するだけではなく、その分の比重が親に掛からざるを得ない状態になって、孤立の子育てを強いられ、親たちの子育て

の悩みも大きくなっていることと考えます。このような子育ての大変な中であって、子どものことを第一に考え、子育てをしておられる皆様をとっても素晴らしく思います。

最後に、子どもたちのより良い自己形成のために、地域や他団体の方からもたくさんのご協力を頂いております。ここに御紹介し結びとします。中学生の「マイチャレンジ」、五軒町区様とのクリスマス会。「地域親」としての「更生保護女性の会」の皆様によるこどもたちとの昼食会は11年目になり、幼児から小学6年生までがアウトドア活動などの実体験や遊びを通して育ち合う(財)那須YMCAと大学生ボランティア・リーダーによる「サタデークラブ」は14年目になりました。ご協力を感謝申し上げます。

## 2015～2016年度 第1回北東部評議会に参加して

村田 榮

7月25日(土)午後1時から仙台YMCAにおいて第1回評議会が中川部長の基に開催された。那須クラブよりは、田村会長・河野副会長と小生の3名で参加しました。全体としては20名の参加でした。前橋ワイズよりの参加はありませんでしたが、会長報告は送られてきていました。報告事項は(1)～(10)までありその中での主なものは、①部長方針・活動計画、②事業主査の事業方針・活動計画、③各クラブ会長方針・活動計画等であった。協議事項は第1号議案から第8号議案まであり特記すべき事は、①北東部会は、9月5日(土)午後1時より「TKPガーデンシティ仙台勾当台店」で開催されます。②第3回ユース・リーダーアクトの開催。③北東部のバナーの作成のための準備。④次々期北東部部長選出を宇都宮東クラブに決定。⑤東日本区事務所の仕事の整理に伴って、東日本区への献金等の送金方法の変更とBF切手の送付方法の変更が行われるようです。⑥クラブ員の高齢化とメンバー数の減少、会員増強の大切が話されていた。那須クラブでも会員の増強は急務であると感じました。

## 会計よりのお願い

2015～2016年度的那須ワイズの会費50,000円を納入ください。

# '15-16年度 那須ワイズメンズクラブ年間計画

標語：拓こう 築こう ワイズの世界

月	第二例会日 第一例会日	司会 聖句	例会内容	東日本区 月間テーマ	北東部 月間テーマ	ブリテン 出筆担当
7	3日(金) 23日(木)	田村	キックオフ 年間計画	キックオフ・JEF 前期会費納入(8/30) CS	半年報 7/10まで 第1回評議会 7/25	村田
8	7日(金) 27日(木)	村田	東京目黒クラブ交流例会 北東部会(仙台)参加 キャンプ場下見・例会	東日本区費送金 EMC-MC	Y・Lsフォーラム11-13 北東部会 9/5	河野
10	2日(金) 10日(土)	荒井	アジア学院収穫感謝日参加(土・日)	メネット・EMC-E		荒井
11	6日(金) 7日(土)	田村	那須街道赤松林植樹(植樹活動と清掃ハイキング)	IBC・DBC(11/10ワイズデー) 国際投票	第2回評議会11/21	原田
12	4日(金) 18日(金)	村田	クリスマス例会			村田
1	8日(金) 22日(金)	鈴木	新年例会	次期役員研修会(東京) BF・EF	半年報送付1/10まで	鈴木
2	5日(金) 26日(金)	河野	講話(認知症の予防と対策)	後期会費納入(2/28) TOF		河野
3	4日(金) 25日(金)	原田	3.11希望の風揚げ(3月6日(日)) アジア学院を通して世界を知る	VIA・YEPP・STEP 次期会長研修会(東京)5-6		原田
4	1日(金) 29日(金) 祝日	鈴木	植樹活動と清掃ハイキング	LT BF現金納期 4/30		田村
5	6日(金) 27日(金)	田村	那須YMCA総会出席 奉仕活動	EF・JEF現金納期5/15 YMCAサービス・ASF	第3回評議会 4/23	荒井
6	3日(金) 24日(金)	荒井	東日本区大会及びチャリティランへの参加 役員引継ぎ	第19回東日本区大会6月4日(土)5日(日)長野		鈴木

役員会：第1金曜日  
例会：第4金曜日

### ○クラブ役員

- ・会長 田村修也 0287-36-1993
- ・副会長 村田榮 0287-77-3103
- ・副会長 河野順子 0287-22-5380
- ・書記 荒井浩元 080-1140-5600
- ・会計 鈴木保江 0287-43-0183
- 090-2311-0024

- ・ブリテン 村田 榮 090-9095-4035 田村修也 090-5545-6763
- ・地域奉仕 田村修也 村田 榮
- ・会員増強 原田時近 0287-45-1544、090-1127-0524
- ・ユース 荒井浩元 028-624-2546
- ・担当主事 荒井浩元
- ・国際交流 河野順子 090-1997-2077

※那須ワイズの15-16年度の活動計画を作成いたしました。那須ワイズの特徴ある活動継続して地域に働きかけながら会員の増強に努めてまいります。  
①東京目黒クラブとの交流促進②アジア学院との連携促進③知らせよう今のワイズを(ブリテンを元会員と那須Yに)④那須Yとの更なる連携促進  
⑤塩谷キャンプ場の整備と活用の検討